

FISHIN'GRAPH

フィッシンググラフ～見て感じて楽しむ沖釣りライフ

36

秋も続く北九州
玄界灘のメタルスツテゲーム
福岡県戸畑漁港出船

玄界灘をはじめ北部九州ではケンサキイカを「ヤリイカ」、ヤリイカを「ササイカ」と呼ぶ

▼国の重要文化財に指定された若戸大橋のたもとから出船する



▲北九州の街を背にしぼしぼ港の中を進む

メタルスツテゲームの主役、ケンサキイカは温暖な海を主な生息域とする生き物。ここ数年で東へ北日本へ拡大しているものの、シーズンは夏を軸に長くても数カ月間だ。

これが九州北部・玄界灘では一年中ケンサキイカを見ることができると、イカ専門の漁師、福岡県戸畑漁港・

祐龍丸の大林幹典船長によると、冬は沖の深場で、夏は岸寄りの浅場でケンサキイカが獲れるそう。1年の漁期のうち5〜12月までを遊漁で出船しているという。

富所潤さんが釣行したのは8月下旬。若戸大橋のたもとを離れた祐龍丸は午

港から1時間半。玄界灘の白島（しらしま）沖、水深80メートルで釣り開始。ほどなくオモリグでヒット

後6時過ぎに白島沖でバラシユートアンカーを投入する。

潮と船の流れを確認した船長はオモリ（メタル）30号を使うようにアナウンス、富所さんはオモリグで幸先よくケンサキイカを釣り上げる。

とはいえ本番は日没後、集魚灯が効いてイカが浮きはじめから。「60メートルより上を狙ってみてください」

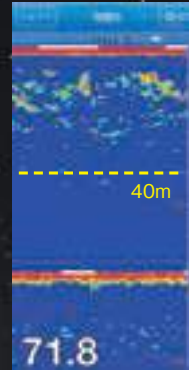
船長がイカが浮いてきたことをアナウンスしたのは、とっぶり日が暮れた7時半。富所さんはメタルスツテタックルに交換し徐々にテンポを上げ、8

▲日没後イカが浮くまではオモリグで底を狙った
▼スライスドロッパー25フラッシュブースト



◎とみどころ じゅん シマノインストラクター。ティップエギング、メタルスツテゲーム、タチウオをはじめ、船のライトゲーム、「楽しむ釣り」の最先端を行く。

▲終盤は25メートルで連釣



▲上層の反応は小サバ。この反応の周辺にケンサキイカも交じっており、この時船長は40メートルから上を探るようアナウンス。指示タナより深く沈めないのがマナーとなる



▲祐龍丸の大林幹典船長（左）はケンサキイカ専門漁師

▲この日は月が明るかった

▲マジックアワーが終わるころ集魚灯がともり本番が始まる

タナを決め撃ちして連続で釣っていく。まさに再現性のある釣り方だった



【セフィア XR メタルスッテ B66UK-GS】
 ◎ツーピースメタルスッテロッドの最高峰シリーズのウキウキトップ搭載モデル。安定性と操作性に加え、卓越した目感度を実現。
 ●Spec 全長1.98m、2本継ぎ、仕舞寸法102.5cm、自重87g、本体価格4万4700円

▼NEW フォールレバーで誘い下げて乗せるシーンも

▼仕掛けはセフィアスッテアシストリーダー

▲当日の最大は胴長35センチほど。40センチ以上がコンスタントに出ているだけにやや小ぶり

シケの中でもサワリ、アタリを明確に表現するウキウキトップ

◀セフィアスイスイスティック80アカキイロのみで乗せ続けた人もいた

◀それを見てセフィアスイスイスティック80ゼンアカで乗せて見せる富所さん

●タナは40メートルから15メートルまで幅広く大中小入り乱れて乗る

▼当日は関東のマルイカより一回り大きめ、その中に良型が交じるといったサイズ感

45メートルでテンポよくシヤクってステイ。すると、セフィアXRメタルスッテB66UK-GSのウキウキトップがフワッと動いて鮮やかにアタリを伝える、の繰り返し。いわゆるタナの決め撃ちだ。
 船上では10人の釣り人が思い思いにタナを探ってはケンサキイカを掛けていく。

したが、釣れ始めが早かったので数をのぼした方は50杯に届いたようです。さすが玄界灘、秋〜冬も釣らせてくれるので楽しみですね」
 冬まで楽しめる玄界灘のメタルスッテゲームは、ちょうどシーズン折り返しを迎えている。

富所さんは周りの釣り人とタナを共有しながら、9時を過ぎてからは25メートルで連釣。40メートルから海面直下までの幅広い層の中で、最も確率のよい位置にまさに語源どおりの「棚」を見つけていた。
 「終盤はアタリが遠くなってしまいま



▲当日はセフィアノリスッテII 30号をメインに使用

▲セフィアコロコロスッテは10〜25号のラインナップ

▲ドロッパーはセフィアスイスイスティック80各色

【バルケッタプレミアム 150DH】
 ◎優れた基本性能と高耐久性に先進の機能を搭載しながら前モデルより大幅に軽量化を果たしたカウンター付き両軸リール。本体価格4万6500円



▲オモリグはセフィアスイイドロップパーフラッシュブレストをセット

オモリグタックルはセフィアSS R-S610MH-SとハイパーフォースLBC3000MHGの組み合わせ

●玄界灘の夜イカは落ち込みが始まると切り替わる船が多いが、祐龍丸はイカ専門で12月まで出船する

時過ぎからは投入のたびにイカを掛けるようになる。
 この時、船長のアナウンスするタナは50メートルより上。
 連続でイカを掛ける富所さんのバルケッタプレミアム150DHのカウンターは45メートルを示していることが多い。というより、毎回45メートルだ。「もつと上でも釣れるのですが、45メートル付近が最も確率が高いように思うんです」と富所さん。

▲10時半までに36杯を数えた。当日のトップは50杯